

昭和54年12月

日本温泉医学会代表

埼玉医科大病院院長

医学博士 大島良雄

5 医学のラドン温泉

ラジウムを含んだ泉水が地下深いところで崩壊して地表に近づくと沈殿を繰り返し、そこから流れ出した泉水を、天然ラジウム温泉と言ふ。自然界でイオン化作用が最も強い働きの物質に変化する。これがラドン。意王ラドン温泉では、二つの広い浴槽に、地下1キロ37マツへの天然ラドンの浴室と、¹⁰高性能を誇るラドン発生装置からあらゆる疾病に効果的に作用するラドンを送り込んでいる。ラドンは、皮膚から、肺から、あるいは飲泉によつて消化器から体内深く浸透してイオン化作用を起す。血液がイオン化されると、血液中の尿酸や中性脂肪、コルステロール、窒素酸化物等不要な物を体外に排出し、このイオン化作用により痛みを和らげ、血液中にエネルギーが生じ、¹⁵体温を高め発汗が促される。発汗は新陳代謝機能を高め、高血圧症・動脈硬化症・糖尿症・皮膚疾患・冷え性・神経痛・リュウマチ・ノイローゼ・メニエル病・むち打ち・夜尿症・痛風・喘息・痔瘻などをあらゆる症状に対し大きな効果を発揮し、健康をよみがえらせる。

我が国の医学界を総結集したラドン発生装置

²⁰意王ラドン温泉のラドン発生装置は、医学博士野口喜三郎先生とともに指導のもと、大さきさ日本一千人用濃度87マツへのラドン発生装置を、昭和54年10月ラドン開発事業団総本部にて制作されたもので、ラドンのみを抽出、ガンマー線の皆無等、優秀なラドン発生装置である。ラドン吸入室に入るとその威力を肌で知り、目で見ることも出来る。他のセンターとは全く異なつたもので進歩を許さない。